

**目標**

理科の授業では、いろいろな自然現象の中から「なぜだろう?」「どうしてだろう?」という疑問を発見することが大切です。そこで気づいた疑問から課題を設定し、それを解決するための方法を考え、計画を立て、実際に観察や実験を通して課題を解決していきます。このとき、自分なりの予想を立ててから観察・実験に取り組むことが、目的意識を持って課題を追究していくうえでとても重要です。

- (1) 身近な自然の事物や現象についての基本的な理解を深め、必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などに必要な基本的な技能を身につける。
- (2) 身近な自然の事物や現象から課題を見だし、見通しをもって観察・実験を行い、結果を分析して解釈して表現するなど科学的に調べる力や態度を身につける。
- (3) 身近な自然の事物や現象に対し関心を高め、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に物事を見たり考えたりする力を身につける。



**学習の進め方**

**【授業の受け方】**

- ① 忘れ物をしない。
- ② 集中して話を聞く。
- ③ 質問に対して深く考える。
- ④ ノートをとる。
- ⑤ 観察・実験に積極的に取り組む。
- ⑥ 実験レポートなどの提出物をきちんと出す。

**【家庭学習のしかた】**

- ① 予習よりも復習に重点をおいて勉強を行う。
- ② その日の授業の内容を教科書・ノートを見直し再度確認をする。
- ③ 観察・実験を行った時は、準備・方法・結果などレポートにまとめる。
- ④ 学習ワークの問題に取り組みながら、重要語句や実験結果を理解し、科学的思考力・表現力を身につける。
- ⑤ 教科書の内容だけでなく、ふだんからニュースや新聞の科学に関する記事に関心をもち、身近な現象に目を向けるようにする。

**評価**

**◎知識・技能**

- ① テストの記述内容
- ② 発言・発表の内容
- ③ ノートやプリント, レポート等の記述内容
- ④ 観察・実験への取り組み
- ⑤ 実技テスト

**◎思考・判断・表現**

- ① 発言や発表の内容
- ② テストの記述内容
- ③ レポート, プリントの記述内容

**◎主体的に学習に取り組む態度**

- ① 課題への取り組み状況
- ② 発言・発表, 質問など
- ③ 授業態度
- ④ 授業に必要な準備
- ⑤ 課題に関する見通しや振り返り
- ⑥ 時事問題に対する科学的な探求

**3年間の学習内容**

	1年	2年	3年
一学期	<b>1 いろいろな生物とその共通点</b> 1章 生物の観察と分類 2章 植物の体の共通点と相違点 3章 動物の体の共通点と相違点 4章 生物の分類 <b>2 身の回りの物質</b> 1章 さまざまな物質とその見分け方	<b>1 化学変化と原子・分子</b> 1章 化学変化と物質の成り立ち 2章 いろいろな化学変化 3章 化学変化と物質の質量 <b>2 生物の体のつくりとはたらき</b> 1章 生物の細胞と個体	<b>2 生命の連続性</b> 1章 生物の成長 2章 生物の増え方 3章 遺伝の規則性 4章 生物の種類と多様性と進化 <b>1 化学変化とイオン</b> 1章 水溶液とイオン 2章 酸・アルカリとイオン
二学期	2章 気体の性質 3章 水溶液の性質 4章 物質の状態変化 <b>4 光・音・力</b> 1章 光の性質 2章 音の性質 3章 力のはたらき	2章 植物のからだのつくりとはたらき 3章 動物のからだのつくりとはたらき <b>4 電気の世界</b> 1章 電流と電圧 2章 電流と磁界 3章 静電気と電流	3章 電池とイオン <b>4 運動とエネルギー</b> 1章 力の規則性      2章 力と運動 3章 仕事とエネルギー      4章 エネルギーの移り変わり <b>3 地球と宇宙</b> 1章 天体の一日の動き      2章 天体の一年の動き 3章 月や惑星の動きと見え方
三学期	<b>3 大地の成り立ちと変化</b> 1章 大地の歴史と地層 2章 火山活動と火成岩 3章 地震と大地の変化 4章 大地の躍動と恵み <b>1年間の総まとめ</b>	<b>3 気象とその変化</b> 1章 気象の観測 2章 空気中の水の変化 3章 低気圧と天気の変化 4章 日本の気象      5章 大気の大躍動と恵み <b>1年間の総まとめ</b>	4章 太陽系と恒星 <b>5 自然環境や科学技術と私たちの未来</b> 1章 生物と環境との関わり      2章 自然環境と私たち 3章 自然災害と私たち      4章 エネルギー資源の利用 5章 科学技術の発展 <b>3年間の総まとめ</b>